開成ファミリー　教室とご家庭を結ぶコミュニティー情報誌

kaisei Family

Father and Mother , I Love You ♥

2019
冬号
vol:52

特集 入試必勝アドバイス

開成公開テスト成績アップ者
&成績優秀者

わたしたちの教室自慢

開成NETステーション

合宿レポート

夏なび優秀者発表

《好評連載》
先生からのおすすめ本
ぷち教育学





開成教育セミナー　エール進学教室

今月の1枚



豪雪地帯では除雪車が活躍します。
大雪で道が閉ざされたとしても、見方を変える・方法を変えることで切り開くことができます。
私たちの前に立ちはだかる、大雪に見える“困難”も必ず切り開く方法があるということです。

2 今月の1枚
目次
3 入試必勝アドバイス
4 中学受験編
6 高校受験編
8 大学受験編
10 公開テスト成績アップ者&成績優秀者
14 わたしたちの教室自慢
16 That's 雑学
18 開成NETステーション
19 先生からのおすすめ本
20 合宿レポート
21 夏なび優秀者発表
22 ぷち教育学
24 学校入試情報
26 塾生が描いたイラストコーナー アンケートより
28 お知らせ

受験生必見！

入試必勝アドバイス

中学受験編・高校受験編・大学受験編



入試まで残り少なくなってきました。
この冬何をすべきか迷っている受験生の皆さんに、
教員から各教科目線でアドバイス！
ぜひ参考にしてください。



入試必勝アドバイス

その１

中学受験 編

入試まで残り２か月となりました。

この時期に何をするべきなのか、小６生の皆さんは１日１日の重みを感じている頃でしょう。そんな今、すべきことを各教科ごとにまとめてみました。

中学入試は短期決戦となり、次々と試験がやってきます。ここからはしっかりと作戦をたてていくのが大切。体調管理を含め、できること・やるべきことを精査して当日に臨みましょう!!

算数
中谷賢 先生



いよいよ入試が近くなりました。これまでみなさんはたくさんの問題にあたってきたことだと思います。入試の中でも主要教科となる算数、これを攻略することが合格に近づくための大きなカギとなります。

まずは「公式を使いこなせるかどうか」。覚えていても使えなければ正しい答えにはたどり着けません。丸暗記するだけでなく、正しく使えるかどうかも確認しておきましょう。次に、「問題を解く方向性は見えているか」。計算で解くのか、線分図なのか、面積図なのかなど、あらかじめ問題のパターンに合わせて「自分の解き方」を身につけておく必要があります。進め方・考え方が合っていれば、どんな方法でも正解にはたどり着けます。

「時間配分を見極める」ことも非常に重要です。途中の問題で悩んでしまい、最後のほうのさらっと解ける問題で時間が足りなくなって点数を落としてしまうと、１点を争う入試では大きなダメージとなります。まずは全体をしっかり見て、どの問題が確実に点数につながりそうかを見極めましょう。問題の進め方やペース配分がきっちり組み立てられていれば、最終的には難しい問題にチャレンジしたり見直しをしたりする時間の余裕ができるはずです。

あとは「自信を持って入試に臨む」ことです。入試はこれからの人生を左右する大きな節目になるので緊張もすることでしょう。でも、そのためにさまざまな苦労を乗り越えてきたはずですし、たくさんの問題に取り組んできたはずです。それらをすべて出し切れるよう最後まであきらめずにがんばっていきましょう。

国語
田中歳浩 先生



自身の志望校の過去問題をやりこんでいると思いますが、時間配分を意識して解くことが大事です。

時間に余裕が持てなければ、時間が無くなってきて焦ってしまい・・・といったことになりかねません。

国語の入試問題において、大問１つはだいたい 3500 ～ 6000 字、それを２つ、ないしは３つ解くことになるので、１題にかけられる時間は 20 分～ 25 分。よって、本文をじっくり、ていねいに読んでいる時間はありません。まずは設問を確認し、必要と思われる箇所に線を引きながら、集中して読む。文章の種類を判断して、「筆者の主張」をつかむのか、「登場人物の心情」を読み取るのか、を意識しながら読んでいきましょう。

記述問題の解答作成は文末が最も重要です。物語文なら、「気持ち」を表すことばを文末に持ってきますが、その際、必ずその前に「理由」を入れてまとめること。説明・論説文なら、解答の締めくくりに気をつけましょう。「～はどういうことですか」であれば、「～ということ」、「～はなぜですか」であれば、「～だから」、という具合ですね。

問題数の少ない記述問題にばかり目を向けず、問題数の多い選択問題や抜き出し問題にも気を配りましょう。選択肢の文末をよく見て、正答をしぼりこんでいく、抜き出しの際に書き間違いや、字数の数え間違いに注意する、などなど。時間が足りないから、と言って空欄を残すのも論外です。最後の最後まで解答欄を埋める努力と、切れない集中力の養成も必要です。

理科
沖口太郎 先生



入試直前の冬、さすがにほぼ仕上がった状態のはずですよね。基本事項の暗記や分野ごとの出題傾向に沿った整理と確認など、直前のこの時期に丁寧に反復学習していくことが大切です。

各分野に弱点は残していませんか。

各分野の課題や弱点を残したままの状態で入試に臨むのは避けたいところです。過去の入試問題や問題集で演習した後、丸付けの際に結果をよく見て、少しでも疑問や不明瞭な部分が見つかったらひと通り復習を行ってください。重要事項の点検や該当する問題に関係する内容の確認も必要です。また、解答の誤字や脱字、計算ミスにも当然のことながら注意してください。

そして、この時期は問題にどんどんあたり傾向をつかんでいってください。

どの問題・どの単元に注意しなければいけないのかは、その時その時で変わります。出題の意図を読み取った上での的確な解答ができるように心がけましょう。もちろん、時間配分にも気をつけないといけません。じっくり考え過ぎて時間が足りなくなって、最後まで解くことができなかったという状況も避けなければなりません。計算問題についても工夫できる部分は工夫したりして、速く正確にできるようにしていきましょう。

社会
糸毛一賀 先生

入試まで日が刻々と近づいてきました。
社会科において優先してやるべきことをご紹介致します。



①地理・歴史・政治範囲の基礎事項をかためる

地理でいえば各地域の産業・輸出入品、歴史でいえば時代の流れを意識しながら重要事項を把握できるように。政治でいえば三権や人権、国際連合などの特徴を整理すること。『コンプリーション』というテキストや授業時に使っている小テストや合宿・夏期テキストで渡された一問一答問題のどれを使ってもいいのですが、まずは自力で解いてください。その後答え合わせをする際、しっかりと漢字で直してくださいね。その際にわからない場所があればテキストや地図帳、資料集などで調べること。この場所にとか、この事件の後に…などイメージを膨らませながら覚えることで最大限の効果が発揮できます。できなかったものにはテキストに鉛筆でチェックを付けておいて、解けるまで再チャレンジしましょう。自力で解ける量が増えてくればあなたの実力も高まってきていることでしょう。



②実戦形式になれる

記号選択問題こそが、実は高度な思考が要求されているのです。特に統計・資料の読み取りや歴史・政治の正誤問題などは典型的な問題です。入試実戦や各種の模擬テストの解きなおしが一番です。やりかたとしては、その問題の問題文をしっかりと読む⇒解説文をしっかり読む。ここで「ああ、なるほど!」とわかったことがあれば別のノートに自分なりに（丁寧ではなくて簡単に）まとめてみるといいですね。もし、何が違うのかわからなければそこに付箋をはって先生に尋ねに行こう。自分で積極的に考えた問題は絶対に君の頼もしい味方になってくれますよ。



入試必勝アドバイス

その２

高校受験 編

入試まで残りわずかとなりました。

この時期開成では「入試突破ゼミ」や「入試必勝合宿・ゼミ」など様々な入試イベントが開催されていますが、家庭学習の指針も自分の中でしっかり決定しておきたいもの。

弱点を補強するのか、得意分野を伸ばすのか、各教科の担当教員がアドバイスします。

ぜひ参考にしてみてくださいね。

数学
黒川振 先生



もうみなさんは公立および私立の過去問演習に入っていると思います。これからはこの過去問演習に集中しましょう。今回は、過去問演習のやり方の一例を示したいと思います。

まず、時間を計って解いたあと解答の確認をしますが、丸付けは〇または × のみで十分です。正解を赤で書く必要はありません。数学は証明等一部の問題を除き答えを覚える意味がありません。

また、できなかった問題については、解法が分からなかったのか、計算ミスなのかをわかるようにしておきましょう。それぞれの対処の方法が変わってきます。

まず、**解法が分からなかった問題**については、解説をしっかり読み込みましょう。どの定理、公式を使うのかの流れをチェックしてください。同時に周辺知識の確認も行いましょう。例えば平行四辺形の問題が出てきたら、定義・性質・条件なども併せて確認するようにしてください。解説で不十分であれば担当の先生に聞きましょう。

そして、**解法は理解できているがケアレスミスで間違えた問題**は、自分で解き直しをするとともに、間違え方の確認をしましょう。特に計算ミスは意識をしなければ減らすことはできません。符号のミスや、繰り上がり、繰り下がりなどごく初歩のことから見直してください。また、途中式をわかりやすく書くことで防げることもあります。基礎的なことを改めることから始めましょう。

受験までまだ残された時間はあります。やるべきことをしっかりやり抜き、受験当日にしっかりやりきったと思えるように、１日１日を過ごしていきましょう。

英語
高橋ひとみ 先生



英語の入試問題は「長文読解」「英作文」「文法」「リスニング」の４つに大別されます。この冬取り組むべき直前対策を確認しましょう。

まず、**長文読解**。長文を読み進めていっても結局どんな内容か掴めきれない時があるのではないでしょうか。それを解消するためのコツは主に４つです。１つ目は「単語・熟語」です。長文の内容を理解できない一番の原因は「単語・熟語」を知らないことです。２つ目は「指示語」です。代名詞が何を指しているのかを見失うと文章の意図がわからなくなり、誤読してしまいます。３つ目は「段落」です。長文は段落単位で内容を把握するようにしましょう。特に論説文では段落の最初と最後に要点が述べられていることが多いです。最後に「時間配分」です。試験時間は限られています。日ごろから長文を読むときには必ず制限時間を設けてください。これら４つのコツを意識しながら長文問題に取り組みましょう。

次に、**英作文**です。これは１つだけです。書いた英文を先生にどんどん添削してもらい、返却されたものをもう一度書き直しをしましょう。

そして**文法**です。新しいテキストに手を出すのではなく、今まで使用してきたテキストを何度も解きなおし、できない問題をつぶしていきましょう。

最後に**リスニング**です。もちろんリスニング問題を解く量を増やし、たくさん英文を聞くことも大事です。しかし、英文を聞きとれない一番の原因は、実は単語を知らない、読めない、あるいは文法を理解できていないことです。一度理解できた長文やスクリプト（音声の台本）を、声に出して英語のまま理解しながら読む訓練をすると飛躍的にリスニング力は向上します。

国語
宇田佳史 先生



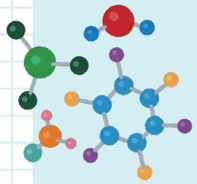
入試問題を解く力をつける最良の教材は、入試問題です。毎年、何か月もかけて練り上げられ、作成された問題を、ただ〇× をつけて終わりというのは大変もったいないことです。入試問題からいかに学べるかがカギです。

読解問題　最も大きな配点を占める読解問題では、時間を意識した実戦的な演習に取り組む時期です。しかし、スピーディに読み解くというのは、急いで文章を読んだり解いたりすることではありません。文字づらをたどるだけではなく、文章全体の構造をとらえたり、筆者の主張の要点を探し出したりできるようになることが、そのまま正しい答えを素早く導く力になります。設問を解く前にひと呼吸おいて、「この文章で一番大切な内容は何だろうか」と頭の中で問いかけてみましょう。

古文　多くの受験生が苦手意識をもつ古文ですが、実は高校入試ではそれほど高度な内容は問われません。むしろ短期間の集中的な学習で効果を上げられるねらい目の分野です。古語や文法の基礎知識を固めつつ、多くの問題を解いて経験値を高めましょう。解説や口語訳を参照して、どこまでわかれば解けたのかを確認するなど、解いた後のアフターケアが大切です。

作文　入試で一番困るのは、与えられたテーマで何を書いたらよいかわからない場合です。具体例・根拠などの論理構成をともなった意見は、その場でとっさに考えるものではなく、事前の仕込みが重要になります。「こういう根拠でこう考える」と言えるテーマを増やしていきましょう。読解問題の文章を題材にして考えたり、同じ課題を論点や材料を変えて二度三度書いたりすることも有効です。

理科
谷澤正彦 先生



理科が苦手な人

入試に合格するためには、みんなが解ける問題は必ず正解することです。たとえば、計算が中心となる物理分野（圧力や電気など）においても、入試問題では基本用語を書かせることも多いですが、これが書けなければ合否に関わってしまいます。つまり、基本用語は理科の全分野、きっちり覚えなくてはなりません。各講習会のテキスト（確認問題）などを繰り返し復習し、覚え直してください。

次に入試問題の過去問を繰り返し解き、受験予定の高校の問題傾向および、出来なかった問題のやり直しをしましょう。解らない所は質問をしましょう。

理科が得意な人

受験生のほとんどにとって、初めて見た問題は難しく感じ、正答率も下がります。他の受験生と差をつける方法は，出来るだけ多くの問題に接することです。特に計算問題においては差がつきやすいので、入試突破ゼミなどで使用したテキスト、受験校以外の入試問題を、できるだけ多く解きましょう。また、基本用語を覚えきれていない分野があれば、覚え直しておきましょう。

社会
重留英明 先生



この冬の勉強法は、過去問演習を徹底的に行いましょう。過去問と言っても、応用問題ばかりが出題されているわけではなく、社会は基礎的な知識定着がないと解けない問題がほとんどです。そのうえで、「地理」「歴史」「公民」のどの分野で間違いが多いのか分析しましょう。ちなみに各分野別の勉強法は次の通り。

地理は、必ず図表やグラフの読み取り問題が出題されます。その種類は、気候に関しての雨温図や、輸出入における製品品目や総額データまで、幅広い出題があります。したがって、知識だけではなくグラフを読み取る思考力も必要です。自分の間違えた図表・グラフの読み取り問題は、チェックを入れ、繰り返し解き直しましょう。**歴史**については、一問一答形式での知識詰込みでは、高得点は望めません。必ず歴史の流れを意識して、各項目のストーリーや因果関係を頭で作りながら、知識をつなげて覚えましょう。**公民**は、３年生になってから学ぶ範囲で苦手な受験生も多くなります。公民用語は細かな数字や聞きなれない語句が多く登場します。まずは基礎知識の習得を行った後、各項目がどのような関連性をもって大きな制度をなしているのか、またその制度や流れは何のためにできているのかといった根本的な理解を意識して行うことで、用語の定着度が飛躍的に高まります。

この冬は入試問題演習を進めながら自身の弱点分野を発見し、該当分野の重点学習を行いましょう。





入試必勝アドバイス

その３

大学受験 編

高１・高２生

現高校２年生からはじまる「大学入学共通テスト」

本年度の大学入試で行われる「大学入試センター試験」を最後に、現高２生からは、このセンター試験が「大学入学共通テスト」へと変更します。国語と数学では、記述問題が３問出題されることが決定しており、記述問題を含むことで、それぞれの試験時間も拡大します。また、英語では外部検定試験が国公立大学の入試では必要になってくるなど、従来の大学入試に大きな変革が訪れています。当然、現高２生だけでなく高１生もいち早く大学受験に向けた意識改革が必要です。

《冬の勉強法》

・高１生

学校の勉強も二学期までの間でかなり進んできています。特に進度の早い数学では、三学期から早くも「数学Ⅱ」の範囲に入っていく高校も見られます。数学に限らず、英語・数学などの主要科目に関しては、冬の間にここまでの苦手単元を洗い出し、復習することをお勧めします。英語に関しては、１年時で習得する英文法が、今後の読解力を大きく左右します。開成ハイスクールの冬期講習などを通じて、将来の大学受験に備えた本質的な実力を養いましょう。

・高２生

主に国公立大学志望者は、高３時の６月には外部検定を受験する必要が出てきます。そこに向けた盤石な準備を整えておきましょう。

高３生

やり残したことの最終チェック！　現役生はまだまだ伸びる！

高３の冬は、これまで培ってきた入試知識や論理を基にして、入試当日に最高のパフォーマンスを発揮できるようリハーサルを行う時期です。そのためにやるべきことは二つ。

・インプット＝「知識項目の再確認」「やり残し科目の追い込み」
・アウトプット＝「過去問演習」「予想問題演習」

知識の出し入れを繰り返しながら、自分の抜けている分野を徹底的に分析・習得し、同時に時間配分などの技術的な部分も向上させましょう。特に苦手分野では、アウトプットとインプットのバランスが大事になります。過去問演習の中などで得点が伸び悩む分野があれば、基礎知識が欠落している可能性が高いため、演習から一歩離れてインプットの勉強へと戻ることも重要です。やり残し、積み残しの知識がないかの最終チェックを忘れずに。

《開成ハイスクールでの冬の過ごし方》

高3生は、ここからが勝負。合格までの要所に置かれた各講座をステップアップしながら、念願の合格をつかみ取ろう!

・冬期講習

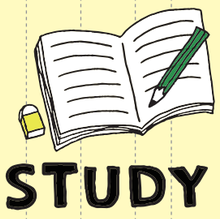
センター試験まで残り数週間となってのこの時期、自分では発見がしづらいやり残し単元の確認や、受験生のつまずきやすい知識を総整理します。冬期講習の頑張りで現役生はまだまだ得点上昇が可能です。

・１月集中授業

年が明けるといよいよセンター試験まで２週間をきります。各科目とも集中授業期間に入り、国公立志望の受験生にはセンター試験にターゲットを絞った最終演習を行います。これまでにない緊張感の中での演習は、皆さんの経験として蓄積され、センター試験当日においての最大限のパフォーマンスの発揮につながります。

また、関関同立などの私大志望の受験生にも関関同立突破講座が開講され、最後の知識確認と演習を行います。各大学の傾向を追いかけることで最後のひと伸びが可能です。

大学受験のスケジュール



2019 12月	2020 1月	2020 2月	2020 3月
12月中旬 国公立大募集要項発表	1/1 センター試験 1日目	2/5 関関同立一般入試スタート	3/1 私大後期入試 開始
12/31	1/18 センター試験 1日目	2/6 センター試験 平均点等の最終発表	2/12 推薦入試・AO入試 結果発表（センター試験を課す場合）
	1/19 センター試験 2日目	2/12 推薦入試 結果発表（センター試験を課さない場合）	2/20 第一段階選抜の結果発表（中期）
	1月下旬 私大一般入試スタート	2/20 センター試験 得点調整実施の有無の発表	2/25 国公立大前期日程試験 開始
	1/22 センター試験 平均点等の中間発表	2/25 第一段階選抜の結果発表（前期）	2/28 第一段階選抜の結果発表（後期）
	1/24 センター試験 追試・再試 1日目	2/28 国公立大前期日程試験 開始	3/8 公立大中期日程試験 開始
	1/25 センター試験 追試・再試 2日目	3/1 私大後期入試 開始	3/12 国公立大後期日程試験 開始
	1/26 センター試験 追試・再試 2日目	3/8 公立大中期日程試験 開始	3/15
	1/27	3/12 国公立大後期日程試験 開始	3/20
	2/5 関関同立一般入試スタート	3/20	3/23
	2/6 センター試験 平均点等の最終発表	3/23	3/24
	2/12 推薦入試 結果発表（センター試験を課さない場合）	3/24	3/25
	2/20 センター試験 得点調整実施の有無の発表	3/25	3/26
	2/25 第一段階選抜の結果発表（前期）	3/26	3/27
	2/28 第一段階選抜の結果発表（後期）	3/27	
	3/1 私大後期入試 開始		
	3/8 公立大中期日程試験 開始		
	3/12 国公立大後期日程試験 開始		
	3/15		
	3/20		
	3/23		
	3/24		
	3/25		
	3/26		
	3/27		

- 中期試験合格発表
- 後期試験合格発表（実際ここまで）
- 入学手続き
- 前期試験合格発表（ここで終わりたい…）
- 入学手続き
- 推薦入試・AO入試 合格者の入学手続き
- 2次（個別）試験　出願
- センター試験 正解などの発表
- 【国公立大】 センター対策を中心に勉強をすすめ 同時に私立併願校を確保
- 私立大後期・2期入試（3月）（ラストチャンスを！）
- 私立大後期・2期合格発表
- 私立大一般入試（1月下旬から2月下旬）（志望校へは複数出願を!）
- 私立大一般合格発表
- 【私立大】 AO推薦入試を視野に 受験機会を増やして、可能性をUP

開成ファミリー編集部が
教室におじゃまして
きました!

第2回 わたしたちの教室自慢!

今回の「わたしたちの教室自慢!」はJR野田駅前教室・エール進学教室JR吹田校に取材に伺いました!どちらの教室も教室長と生徒のみなさんの魅力が分かる、とても素敵な教室です。ぜひ読んでみてくださいね。











エール進学教室 JR吹田校

JR吹田駅から徒歩5分、大きなイオンを過ぎてすぐ、美味しそうな焼肉屋さんの横の階段を上がって2階にJR吹田校はあります。入ってみての第一印象は、整理整頓が完璧にできた綺麗な教室。靴箱、掲示物、写真、寄せ書き、傘立てすべてが整頓されています。また手作りの工夫が大変多く、編集部も勉強になるほど「学習に取り組みやすい工夫」がなされています。まず気になったのは吹田図書室。(写真②)教室長の平井祐也先生にお話を伺うと、1~2週間程度で平井先生お勧めの本を一冊選び置いているそうです。



②

続いてストロークボード。(写真③)これはエール進学教室として展開する千里山田校・JR吹田校の2教室だけの取り組みです。生徒の学習姿勢の中で〝良いな〟と教師が思ったことを取り上げ、メッセージを書いて掲示します。上記2つのどれもに共通することが平井教室長の〝勉強を好きになってほしい〟という思いです。知らなかったことを知った際の喜びを感じて欲しい、やらされて勉強するのではなく、自ら知りたいと思って欲しいと平井教室長は話します。そんな彼自身も学生時代にはあまり勉強が好きになれなかったそう。しかし人に知識を話したり、勉強を教えたりすることで段々と知的好奇心が湧いたそうです。帰り際、卒業生の寄せ書きを見て驚いたのは題材が「後輩のみなさんへ」だったこと。教室長をはじめとした教員一同はもちろん、生徒たちの中でも先輩から後輩へ教室の伝統を繋ぎ全員で教室をつくっていることこそが、JR吹田校の1番の魅力だと感じました。



③













JR野田駅前教室

大阪環状線の大阪駅より2駅、多くの飲食店が立ち並ぶJR野田駅より徒歩5分の位置にあるJR野田駅前教室。教室の窓には大きく「咲くやこの花中学校　受験対応コース」の掲示物が貼られています。階段を上がり教室に入ると、「こんにちは~!」の明るい声と教員たちの明るい笑顔が迎えてくれます。中でも教室長の岡村一雄先生は一人ひとりの生徒に必ず声をかけてコミュニケーションをとっていきます。編集部がカメラを持って立っていると「こっちも撮ります」かと自習室へ入るや否や生徒たちも集まり「ほら勉強してるフリして」「ちゃんとしてたもん~」「先生僕顔写真OKやで」などとみんなが岡村教室長の周りに集まります。(写真①)生徒たちに教室の良さを聞いてみると、「先生がおもしろい」「先生が優しい」「先生が…」と口を揃えて岡村教室長の話をしていきます。一方で岡村教室長に教室の良さをお伺いすると「子どもたちが教室を好きになってくれるんです」との回答が。JR野田駅前教室は当塾で唯一、大阪市立中高一貫校である咲くやこの花中学校受験の特化教室であるが故に遠方からも多くの生徒が通っています。合格者の58.7%が開成教育グループの卒塾生ですが、その多くがJR野田駅前教室の卒業生。しかも彼らは中学受験が終わってからもなお、近隣教室ではなくあえてJR野田駅前教室に通っています。その理由は〝JR野田駅前教室が好きだから〟だそうです。授業開始前にも関わらず多くの生徒が自習室で勉強したり、ご飯を食べたり、休憩に先生と話したりしています。学校と自宅の次の居場所として生徒たちに根付いている、だからこそ遠くてもJR野田駅前へ通っていただけているのだと岡村教室長や生徒のみなさんを見て改めて感じました。





That's雑学

要注意！インフルエンザ編 WINTER

冬といえばクリスマスやお正月など楽しいイベントがたくさんありますね！しかしその反面、その寒さから体調を崩しやすい季節でもあります。また、冬は受験生にとってとても大切な時期です。そんな冬を元気に乗りきるために、今回は特に注意が必要なインフルエンザの雑学を紹介します！

雑学① なぜインフルエンザは冬に流行るの？

インフルエンザは一年中感染の恐れがあるものの、毎年12月～4月が流行シーズンだと言われています。そして1月～2月にそのピークを迎え、毎年多くの感染者を出しています。なぜ冬になると感染者が急増するのでしょうか。その大きな原因の一つが冬の「気温」と「湿度」にあります。インフルエンザウイルスが生存しやすい環境は低温・低湿度と言われています。気温が低く、乾燥している冬はインフルエンザウイルスが最も活発になる時期なのです。また、気温が低いと人は鼻やのどの血管が収縮します。それによりウイルスを体の外に出す働きが鈍くなってしまいます。つまり、冬はインフルエンザウイルスにとっては最適な季節であり、反対に人にとっては予防が難しくなる季節なのです！

雑学② インフルエンザ対策のカギは湿度！？

インフルエンザウイルスには水分が含まれています。乾燥した冬の空気の中でこの水分が蒸発すると、ウイルスは軽くなり、私たちの身の回りを浮遊し始めるのです。つまり、インフルエンザ予防において乾燥は天敵なのです！

雑学③ 冬の乾燥対策をしよう！

暖房を使うと、室内はさらに乾燥します。適切な湿度は50%～60%と言われています。部屋の湿度はこまめにチェックし、最適な湿度を保つことが大切です。
湿度を保って賢くインフルエンザを予防しましょう！

雑学④ インフルエンザワクチンは3か月しか効果がもたない！？

特に受験生のみなさんは必見です！インフルエンザのワクチン接種をする際には、効果が継続している時期をしっかり知っておく必要があります。一般的にはワクチンは早ければ3か月程度で免疫反応が落ちる可能性があると言われています。個人差が大きいとはいえ、受験生の皆さんは受験日から3か月逆算して接種することが好ましいと考えていた方が良いでしょう。ただし難しいのは病院によって接種開始の10月より病院のワクチン在庫が減っていくということ。12月頃に接種しようと問い合わせても在庫がないと接種自体ができなくなってしまいます。ですので大事な受験学年のみなさんは病院に前もって問い合わせて、在庫を確保しておいてくださいね。

雑学⑤ ワクチンを接種してもインフルエンザにかかる可能性がある！？

ワクチンを接種したからといって安心してはいけません。インフルエンザウイルスには流行型があり、病院では今年の流行型を予測してワクチンを用意します。つまり別型であればインフルエンザを発症してしまう可能性があります。そのためワクチンを接種してもマスクや手洗い・うがいを行うなど予防策をしっかりととる必要があります。

雑学⑥ インフルエンザ対策のあれこれ

乾燥を防ぐ以外にも様々なインフルエンザ対策があります。インフルエンザウイルスは人から人へと感染します。そのことを踏まえて対策することがポイントです！

- 手洗い、うがい……基本中の基本ですが、とても重要です！帰宅時には必ず行いましょう。
- 外出時はマスクを着用…自分自身が感染しないためはもちろん、周りの人への配慮としても必要ですね。
- バランスの良い食事を…日ごろから十分な栄養を取り抵抗力を高めましょう。

雑学⑦ インフルエンザ以外にも

毎年インフルエンザは大きな注目を浴びますが、そんな陰に隠れて、冬はノロウイルスにも注意が必要です。ノロウイルスの流行も12月～1月にピークを迎えます。ノロウイルスは人から人への感染に加え、食品からも感染します。ノロウイルスの流行時期には、常に除菌を習慣づけましょう！



先生からのおすすめ本

We want you to read these books

小…小学生におすすめ　中…中学生におすすめ　高…高校生におすすめ

水川学治先生おすすめ　小 中 高



『カラフル』
森絵都　著
文春文庫

物語は二度と生まれ変わることのできないはずの魂である主人公が、抽選に当選して生まれ変わるための再挑戦のチャンスが与えられるところから始まります。再挑戦とは下界にいる誰かの体を借り、その期間中に前世で犯した過ちを自覚すると、輪廻のサイクルに戻れるというものでした。主人公の魂は中学3年生の小林真という自殺を図り危篤状態であった少年の体に入ることになります。主人公の魂が入った真が生き返り、喜ぶ真の家族の姿を見て少年の死に疑問を抱きます。自殺の原因の一端が家族にあると知り、家族と距離をおくようになります。

しかし、主人公は真として生活をしていく中で母親の思いや父親の告白を聞き、真の家族への印象が変わり、この人たちに真を返してあげたいと思うようになります。そのために、自分の生前犯した罪を思い出すために奔走します。最後の最後で衝撃の事実が発覚するなど、私の予想もつかない作品でした。現実の世界は厳しいことも多くて色で例えるならば「真っ黒」な世界であると感じているかもしれませんが、多くの人が自分を支えてくれているという優しさにあふれた「カラフル」な世界でもあると思っています。この作品はそんなことを私に感じさせてくれました。

皆さんも主人公に共感できる部分が多く、色々なことを感じていただけると思います。ぜひ読んでみてください。

その他おすすめ本

①阪急電車
有川浩 著／幻冬舎文庫

②きみの友だち
重松清 著／新潮文庫

③精霊の守り人
上橋菜穂子 著／偕成社



小谷真奈先生おすすめ　中 高



『スイッチを押すとき』
山田悠介　著
角川文庫

非現実的な世界観の間に、必死に生きようとする登場人物たちに心を打たれました。山田悠介さんが好きで、たくさん読んでいました。山田悠介さんの描く非現実的な世界観が好きだったのですが、感動したのはこの本が初めてでした。

《スイッチを押すと、命が絶たれてしまう。》それは、国の実験によるものでした。施設に収容された被験者の子供たちは、次々にスイッチを押していきますが、横浜の施設のある4人の子どもたちだけは必死に生きていきます。その施設へと異動になった監視員の南洋平はその4人と出会いました。そして、物語は動き出します。

4人の子どもたちと一人の監視員の出会いによって、運命が変わっていき、ラストには思いもよらない展開になります。子どもたちと南洋平はいったいどういった関係なのか、どのように話が終わるのか、1ページも目が離せません。非現実的な設定や、感動ものが好きなみなさんに、ぜひ読んでいただきたいです。衝撃なクライマックスに、必ず引き込まれるでしょう。

その他おすすめ本

①雪国
川端康成 著／新潮文庫

②人間失格
太宰治 著／新潮文庫

③源氏物語
紫式部 著／小学館



安藤嘉章先生おすすめ　中 高



『わかったつもり　読解力がつかない本当の原因』
西林克彦　著
光文社新書

皆さんは勉強していく中で何が解らなくて困ったことはありませんでしたか。おそらく、大半の人は困ったことがあったと思いますし、中には現在進行形で困っている人も多いと思います。そして、困っている人から多く寄せられる言葉にこんなものがあります。『何が解らないのか解らないが、とにかく解らない。』そして『テキストを読んだけれども、書いてあることが解らない。』『解説を読んだ時には納得できたのに、類題が解けない』……どうでしょう、身に覚えがあるのではないでしょうか。

本書では、そんな『わかったつもり』について、読解の観点から段階的に仕組みを解説しています。普段は何気なく自動的にこなしている文章の読み取り、特に『文脈』というものの意味や働きについて非常に丁寧に触れられています。例えばどのようにして『文脈を理解』すればよいか、或いは間違っているのになぜ『わかったつもり』でいられるのか、といった事柄について具体例と共に解りやすく解説されています。

とっかかりでは硬い印象を受ける内容ですが、読解力をつけたい人に向けて書かれていますので、冒頭から受ける印象以上にスラスラと読むことが出来ます。文章読解が苦手な人だけではなく、文章を読むのが速く本を読むのは好きなのに国語で点数が取れない人や国語は得意だけれども、もっと力を付けていきたい人にもお勧めできる一冊です。

その他おすすめ本

①奇書の世界史
歴史を動かす“ヤバい書物”の物語
三崎律日 著／KADOKAWA

②帰ってきたヒトラー
ティムール・ヴェルメシュ 著／河出文庫

③豊臣秀長 ある補佐役の生涯
堺屋太一 著／PHP 文庫



アンケートにお答え頂いた方から抽選で紹介した本をそれぞれ２名様ずつプレゼントいたします。

開成NET

KAISEI NET STATION

Vol.27

いつもここから始めよう　開成NETの情報をお届けします

NEW SERIES

開成NET大解剖

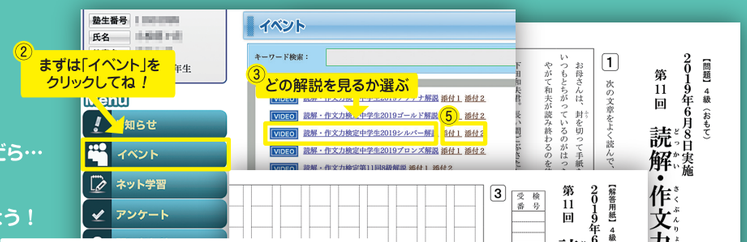
開成NETの中身をのぞいてみよう！

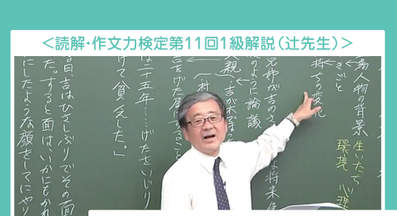
～開成NETで「読解・作文力検定」の『予習』と『復習』をしよう！～

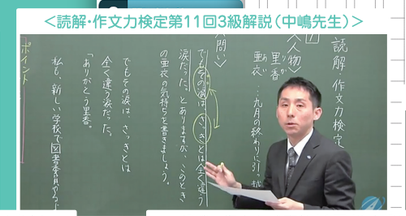
開成教育グループが主になって開発・開催している「読解・作文力検定」も、回を重ねて今年の11月開催分はもう第12回です。昨年度からは中学生を対象にしたより高度なレベルの検定も始まり、現在では小学3年生を対象にした8級から小学6年生後期を対象とする1級に加え、中学生対象のブロンズ・シルバー・ゴールド・プラチナの各級も合わせて、合計12階級の検定になりました。開成NETでは、その開発当初から各級ごとに問題用紙や模範解答はもちろん、解説ビデオも配信しています。検定終了後、各級の認定が行われるころには新しい検定の解説ビデオが配信されますが、過去の問題の問題用紙や解説ビデオも見ることができますので、ぜひご活用ください。

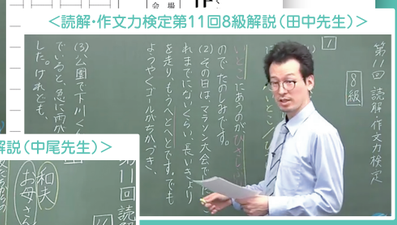
ログイン方法

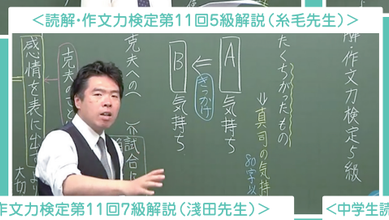
❶ 開成NETにログイン
❷「イベント」を選び、
❸ 見たい「読解・作文力検定」の級を選んだら…
❹「▶（スタートボタン）」で、授業開始！
❺ 問題用紙や模範解答はダウンロードしよう！

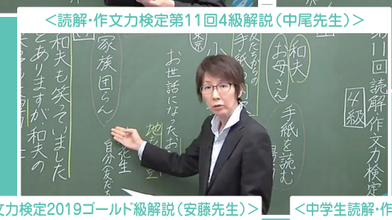






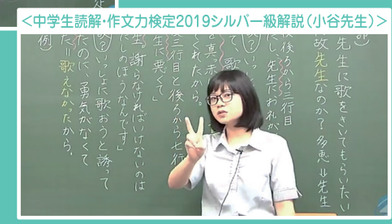












※「読解・作文力検定」外部受検生の方のログインアカウントには使用期限があります。ご注意ください。

2019
合宿レポート

中学生対象

夏期合宿

8/9(金)・10(土)・11(日)
in 琵琶湖グランドホテル

開成教育グループの夏の恒例行事「夏期合宿」は、今年も琵琶湖グランドホテルを貸し切り、約１,０００名が参加して行われました。中１～中３合同開催の合宿は、３日間で２０時間以上にわたる集中学習。精鋭教師による授業・単元別レベルアップゼミ・様々な学習コンテストによって鍛えられた学力と精神力は、志望校合格に向けて大きな力になることでしょう。

授　業



授業中は先生も生徒も真剣そのもの。集中している分、時間があっという間に流れていくように感じます。

バ　ス



開成教育グループ各教室から貸し切りバスで生徒が集結。いよいよ合宿の始まりです。

ゼ　ミ



中３合宿恒例の単元別レベルアップゼミ。個別添削形式で一人ひとり教えてもらえるゼミは弱点克服への特効薬です。

早朝自主勉強会



朝 6 時 30 分からの早朝自主勉強会。眠気よりもやる気が上回ります。

食　事



勉強の合間のホッと一息つける時間。先生も生徒も自然と笑顔があふれます。

学習コンテスト優秀者表彰



学年ごとに様々な学習コンテストを実施。最優秀者には合宿期間中に先生たちが着ていたレアなビブスを進呈！

学習クイズ大会



今年から中１生・中２生合同のチーム戦で行われた学習クイズ大会。正解を発表するたびに歓声が沸き起こる盛り上がりぶりでした。

学習方略

開成教育グループ　入試情報室
藤山正彦の

ぷち教育学

こんにちは。藤山です。教育に関するお話をしていきます。今回は、学習方略についてお送りします。

学習方略とは教育学や心理学で使われる言葉ですが、「学習効果を高めるための意識的な工夫」と定義されています。

たとえば道順を覚えるとき、どのような方法で覚えるかというのは、人や場面によって様々です。地図で位置関係を理解する方法もあれば、「郵便ポストの次の角を左に曲がって、2本目の道を右に曲がる・・・。」といった目標物とその順番で行き方を覚える場合もあります。

多くの人は二つの方法を使い分けることができますが、エジプトのカイロでタクシーに乗った経験のある知人の話によると、どの運転手もホテルまでの地図を見せても全く理解できないのに、大体の住所とホテル名を聞くと、それだけで狭い路地をがんがん曲がりながら最短距離で迷わず到着するのだそうです。

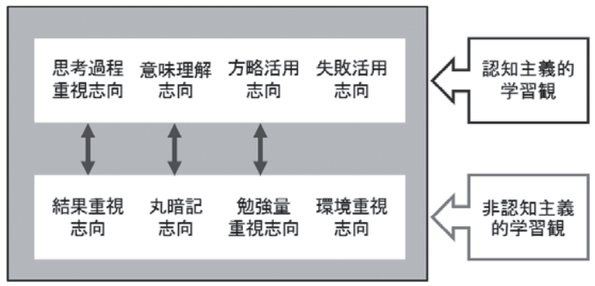


私は高校生が自習室で英単語を覚えている姿を長年見てきましたが、その英単語の覚え方も、人によって様々です。何度も「見る」、単語集の一部を隠して「自分をテストする」、「小声に出して読む」、「ゴロ合わせを考える」、「語源を調べる」、「例文とセットで覚える」、「関連語を調べて、その違いを調べつつ、まとめて覚える」、「少しずつ覚える」、「まとめてたくさん覚える」、など様々な方法があります。

ある教室で自習室の机の上に生物の問題集を広げたまま、わざわざ机の下に単語集を隠しながら(?)覚えようとしている高校生女子を見ましたが、これは学校で他の科目の授業中に「内職」で覚えると集中できるという経験から生み出された作戦のようです。

実は英単語の学習については1990年代にいくつか研究が行われ、見ているだけとか、何度も書いて覚える、という方法で暗記しようとしている生徒よりも、関連語を調べている生徒のほうが英語の成績が高い（堀野・市川，1997）という研究結果もあります。但し、これはあくまでも統計的なデータによる結果で、英単語をひたすらノートに書いて書きまくって、書いた上にもさらに書いてどのページも真っ黒になったノート（ご本人が「呪いのノート」と命名）を何冊も作ってしまうという反復を辛抱強く行って単語力を身に着け、難関大学に合格したという生徒も知っています。ちなみに彼女の右手小指の外側から掌の外縁は毎日真っ黒でしたので、学校でも時間があれば書きまくっていたようです。

教育学でこれらの光景をまとめると、次のようになります。まずは学習者がその分野をどのように学習するべきと考えているかをまとめた「学習観の分類」です。



入塾時の面接で「理科・社会は暗記物だから一人でできる」と選択していただけないことが多いのですが、その「覚えるだけで通用する」という学習観が邪魔をして、理科（化学の濃度や質量保存・物理）や社会（地理の時差・縮尺・公民のドント方式）で計算が出てきたとき、小5レベルの算数計算なのに正答率がいきなり下がるわけです。ちなみに今の高校地理の問題は資料の読み取りや分析力が必要なつくりになっており、暗記だけでは解けないようになっています。

次に学習方略についてまとめたものが「学習方略の分類」です。（Table1）

方略研究からウインスタインら		学習方略	具体的な方法
主要方略	認知	リハーサル方略	反復する　模写する
			下線を引く　ノートに書く
			明暗をつける　など
		精緻化方略	言い換える
			要約する
			質問する
			類推する　など
		体制化方略	グループ分け　並べる
			図表整理　概括階層化　など
支援方略	メタ認知・リソース管理	理解監視方略	失敗を自己監視する
			自問する
			一貫性をチェックする
			再読する　など
		情緒的方略	不安を処理する
			自己効力感・結果期待を持つ
			生産的環境をつくる
			時間を管理する　など
（定義なし）		外的リソース活用方略	辞書・辞典・インターネットを活用する
			先生に質問する
			友だちなどと交流して学ぶ
			図や表を活用する　など

Table 1　最近の先行研究を考慮した学習方略のカテゴリー分類

子どもたちが試行錯誤しながら試しているのはこれらの方法で、これらの多くを適切に使いわけることができるようになることが学習することの目標だともいえるでしょう。

過程がすべてであるはずの数学でも、公式を暗記して、あてはめ方を覚えて乗り切るという方法が楽だという生徒がいます。中3数学に「2次方程式の解の公式」というのが出てきます。この複雑な式を丸暗記して使えるようになるのは、実は数学が不得意な子どもの方が早かったりします。算数や数学で暗記をするのは邪道だと思われていますが、中学受験の世界ではスピードアップのために3・14×○を何種類か暗記することが推奨されますし、高校数学でも三角関数の加法定理を「咲いたコスモス、コスモス咲いた」とか語呂合わせで覚えてしまえばその意味が理解できていなくても三角比に関するほとんどの問題は解けるようになっています。

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

ちょっと横道にそれますが、なんと20年前にこのような丸暗記学習に対する警告なのでしょうか、その公式の証明が東京大学の入試に出題されています。

■加法定理の語呂合わせ例

$\sin(\alpha \pm \beta) = \sin\alpha\cos\beta \pm \cos\alpha\sin\beta$
咲いたコスモス　コスモス咲いた

$\sin(\alpha \pm \beta) = \sin\alpha\cos\beta \pm \cos\alpha\sin\beta$
サンタは　最高　こっそり侵入

高校数学で行列と一次変換を習った世代の方は簡単に証明できると思いますが、行列を使わずに証明するには中3の相似と高1の三角比を組み合わせて証明することになり多少コツが必要になります。（実はこの問題の答えは高2数学の教科書に載っています）

この警告はスマートフォンの使い方には結構自信がありますが、その仕組みはあまりわかっていない私にとっては耳の痛い話でもあります。

> (1)　一般角 θ に対して $\sin\theta$, $\cos\theta$ の定義を述べよ.
>
> (2)　(1) で述べた定義にもとづき, 一般角 α, β に対して
> $$\sin(\alpha+\beta) = \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta,$$
> $$\cos(\alpha+\beta) = \cos\alpha\cos\beta - \sin\alpha\sin\beta$$
> を証明せよ.
>
> [1999 東京大 前期]

試験期間に入ると教室での自習は私語・教えあい禁止、食堂では教えあいや声を出しながら覚えるのはOK、職員室前の机は質問用、というふうに学習方略に応じた自習室が複数用意される高校もあるようですので、科目や気分によって使い分けるのも有効でしょう。

「勉強方法がわからない。」といった相談を生徒から寄せられることがありますが、実は誰にでも通用する正しい方法があるのではなく、さまざまな方法を試して、自分に向いた「学習方略」を見つけることが「正しい勉強法」といえるでしょう。

「学校の勉強って大人になってから役に立つの?」という素朴な子どもの疑問に対し、私は「勉強内容はあまり役に立たないけれど、やることで得られた勉強の仕方は役に立つよ。」と答えることにしています。

運動系の部活をしている生徒なら、例えばバスケットボールが大好きな子に対して、バスケットボールを通して得られたことを語ってもらいます。最初は筋力や瞬発力といった体力をあげますが、もっと踏み込んで聞いてみます。すると先輩やコーチから教わった練習方法・トレーニング方法が身についたという話が出てきます。加えて皆で協力することの大切さや後輩指導での苦労話、支えてくれた家族や周りの人に対する感謝の言葉が出てきます。

そこで、実は勉強も同じなのだよ、勉強内容よりそのための工夫の方が大切で、その工夫がうまくいった喜びはやった人にしかわからないのだよ。その工夫を仲間と共有して、みんなで賢い大人になろうね、という話をすると納得してくれる場合が多いものです。

先に例に出した「呪いのノート」の生徒も、今では社会人になっているはず。誰よりもたくさんメモをして、少しの空き時間でも利用し、こつこつと確実に物事を覚えていく優秀な社会人になっていることでしょう。





藤山正彦先生
〈最終学歴〉
大阪大学
人間科学研究科博士前期課程修了
人間科学修士（教育学）
〈所属学会〉
・日本教育学会・日本教育工学会・教育心理学会

参考文献

・「新編　修身教典　尋常小学校用　巻二」（訂正４版）　1902
・綾部宏明　田中博之　活用学習における学習方略プログラムの開発研究　早稲田大学大学院教職研究科紀要　第８号　2016
・広岡亮蔵「教育学著作集Ⅱ　学習形態論」明治図書　1968
・堀野緑　市川伸一「高校生の英語学習における学習動機と学習方略」教育心理学研究,45　1997
・市川伸一　学習動機の構造と学習観の関連　第37回日本教育心理学会論文集，177．1995
・市川伸一　南風原朝和　杉澤武俊　瀬尾美紀子　清河幸子　犬塚美輪　篠ヶ谷圭太
数学の学力・学習力診断テスト COMPASS の開発　認知科学，16（3），333–347．2009
・水越敏行　教育方法学からの人間理解　（前田嘉明編・著「心理学と人間理解」）ブレーン出版　1988
・Web コンテンツ　「受験のミカタ」https://juken-mikata.net/how-to/mathematics/kahouteiri.html



入試情報室より

近畿圏
国立・公立中高一貫校について

入試情報室　藤山 正彦



いよいよ中学入試のシーズンが近づいてきました。私立中学校に関しては入試日程や入試科目が一覧になったものが多いのですが、公立の中高一貫校については募集人数も少なく、発信されている情報量も限られています。そこで今回はあえて、その学校についてまとめてみました。まず、これらの公立の学校は入試のことを「入学試験」ではなく「適性検査」と呼びます。これは公教育という性格上、学力だけで入学者を選抜するのではなく、その学校の特性に適合した生徒を選ぶ、という建前があるためです。したがって教科名を冠した試験ではなく「適性検査（理数的表現）」などと教科横断型（例えば「理数的」なら算数と理科が合体したような）「合科型」の作問となっています。

まず、国立大学附属系の8校についてです。大阪教育大学附属は3つの中学校があります。しかしその募集人数や入試方式は異なります。かつては学力試験で合格した後に抽選がありましたが、今では1次が国語と算数の試験、合格者がそれ以外の科目の2次試験に進むという仕組みになっています。「池田中学校」と「天王寺中学校」は実技系の科目もあります。「池田中学校」は1教科選択するだけで構いませんが、「天王寺中学校」は音楽では作曲、図工ではデッサンといった本格的な実技試験が待ち構えています。

神戸大学附属中等教育学校は10年前までは附属小学校からの進学者のみの中学校でしたが、6年制の中等教育学校に改組し、2015年から中学からの募集も始めたため、併願として受験される私立中学校も試験日程や手続き日の変更などの影響が出ました。こちらは中学入試には珍しく出願時に小学校の「調査書」が必要です。因みに私立の神戸女学院中学校も調査書が必要で、募集要項には「重視する」となっていますが、その評価基準は発表されていません。

奈良女子大学附属中等教育学校は大正時代の新教育運動以来「合科型」授業の伝統がある学校ですが、入試ももちろん合科型です。募集定員は男女それぞれで設定されており、毎年女子の競争倍率は男子の約2倍という狭き門となっています。（2019年度入試の実質倍率は、男子は2.61倍、女子は4.67倍でした。）

以上いくつかの国立大学の附属中学校を紹介しましたが、基本的に教育系の学部の研究機関としてカリキュラムの開発や、地域の中学校の教員を集めての研究授業を行う場ですので、私立の中高一貫校のような先取りカリキュラムではなく、宿題や小テスト、授業時数が多いわけではありません。

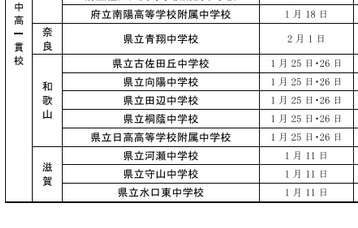
一方、地方自治体立の公立中高一貫校は特徴的な募集や教育活動が行われています。大阪の「咲くやこの花中学校」、「水都国際中学校」は大阪市立ですので大阪市内在住の受験生しか受験することができません。これらの学校は高校からの募集もありますが、そちらは他の大阪市立の高校と同じで、府立高校と同じ日に同じ問題で試験が行われ、大阪府下なら大阪市外からでも受験が可能となっています。咲くやこの花中学校は「ものづくり」「言語」「芸術」「スポーツ」と20名ずつ合計80名の募集となっていますが、入試では「適性検査Ⅰ」が共通問題で、「適性検査Ⅱ」がそれぞれ異なった内容となっています。しかし、入学後は各コースから10名ずつの2クラスにまとめられます。つまり4コースが合体した2クラスで授業がおこなわれます。進学実績も高く、2019年度大学入試では京都大学4名、大阪大学3名など国公立大学に現役で29名、既卒まで含めると36名が合格しています。

大阪市立の「水都国際中学校」は今年開校した新しい学校で、まだ中・高の1年生しか在籍していませんが、すべての授業の4割（理科や数学も）を英語で行い、定期テストも科目によっては紙ではなくCBT（タブレットを使って画面上で答える方式）、さらに今の中1が高2になる4年後には国際バカロレアの認定校をめざして準備が進んでいるという、公立とは思えない特色のある学校です。大阪市立ですが、学校の運営は大阪YMCAという法人に委託する「公設民営」という全国初の設置形態も注目されています。

兵庫県立芦屋国際中等教育学校の入試は「作文」のみ、そもそもこの学校は日本語理解が不十分な外国籍児童30名、帰国子女生30名、一般児童20名の合計80名という学校で、一般児童の「作文」による募集では倍率10倍を超えるという難関となっています。この学校は兵庫県立ですが、申請によって大阪府からの受験・入学が認められる場合もあります。

京都府立南陽高等学校附属中学校は2018年開校、つまり今は中1と中2しか在籍していない学校で、募集は40名の1クラスのみです。通学域は京都府南部の「山城通学圏」と限られています。つまり京都市在住の小学生は受験できないことになっています。

このように、公立の中高一貫校といってもかなり特徴に違いがありますので、授業料が安い（地元の公立中学校と同じで無料）というだけで選ぶのではなく、その特色をよく調べてから、または私立中学校とも比較検討してから受験（適性検査なので「受検」と要項に表記している学校もあり）することをお勧めします。



■2020年度 国立中学校・公立中高一貫校 入試要項一覧

		学校名	試験日	募集定員	試験教科	面接	合格発表日	受検料	出願期間
国立校		大阪教育大学附属池田中学校	1次．1月25日 2次．1月28日	男女144名 （内部進学者を含む）	1次：検査Ⅰ《筆記による検査》国語 検査Ⅱ《筆記による検査》算数 2次：検査Ⅲ《筆記による検査》理科・社会より1教科選択 検査Ⅳ《実技による検査》 音楽・図工・体育・家庭より1教科選択	無	1次．1月27日 2次．1月30日	5,000円	12月9日～12月13日
		大阪教育大学附属天王寺中学校	1次．1月18日 2次．1月21日	男女144名 （内部進学者を含む）	1次：算数・国語 2次：理科・社会・音楽・図工・家庭・体育実技	無	1次．1月20日 2次．1月24日	5,000円	12月11日～12月12日
		大阪教育大学附属平野中学校	1次．1月25日 2次．1月27日	男女108名 （内部進学者を含む）	1次：算数・国語 2次：理科・社会	有	1次．1月26日 2次．1月30日	5,000円	12月2日～12月16日
		神戸大学附属中等教育学校	1月21日	男女80名	「言語表現」・「数理探究」必須 「自然環境」・「市民社会」から1領域選択・作文・調査書	無	1月24日	5,000円	12月2日～12月4日
		京都教育大学附属桃山中学校	1月18日	男女50名	算数・国語・理科・社会	無	1月21日	5,000円	11月28日～12月5日
		奈良教育大学附属中学校	2月6日	男女136名 （内部進学者を含む）	算数・国語・理科・社会	無	2月7日	5,000円	12月23日～1月20日
		奈良女子大学附属中等教育学校	1月23日	男子約60名　女子約60名 （内部進学者を含む）	表現Ⅰ（言語的表現）　表現Ⅱ（数理的表現） 表現Ⅲ（対話的表現）	無	1月26日	5,000円	ネット出願導入 12月16日～1月7日
		滋賀大学教育学部附属中学校	1月11日	男女108名 （内部進学者を含む）	算数・国語・理科・社会	有	1月16日	5,000円	11月25日～11月29日
公立中高一貫校	大阪	咲くやこの花中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ	有	2月1日	2,200円	12月26日～12月27日
	大阪	水都国際中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ	有	2月1日	2,200円	12月26日～12月27日
	大阪	府立富田林中学校	1月25日	男女120名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・作文	無	2月2日	2,200円	12月25日～12月26日
	兵庫	県立芦屋国際中等教育学校	2月1日	男女80名	作文	有	2月6日	2,200円	1月14日～1月17日
	兵庫	兵庫県立大学附属中学校	10月26日の学校説明会にて発表						
	京都	市立西京高等学校附属中学校	1月18日	男女120名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立洛北高等学校附属中学校	1月18日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立園部高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立福知山高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	京都	府立南陽高等学校附属中学校	1月18日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	有	1月22日	2,200円	12月22日～12月24日
	奈良	県立青翔中学校	2月1日	男女80名	適性検査1・2	有	2月5日	2,200円	1月20日～1月24日〔消印有効〕 1月27日～1月28日
	和歌山	県立古佐田丘中学校	1月25日・26日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立向陽中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立田辺中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立桐蔭中学校	1月25日・26日	男女80名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	和歌山	県立日高高等学校附属中学校	1月25日・26日	男女40名	適性検査Ⅰ・Ⅱ・作文	有	2月1日	2,200円	1月6日～1月9日
	滋賀	県立河瀬中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	12月16日～12月17日〔消印有効〕 12月16日～12月18日
	滋賀	県立守山中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	
	滋賀	県立水口東中学校	1月11日	男女80名	作文・適性検査	有	1月18日	2,200円	